

## 山形県の古木・名木 No.27

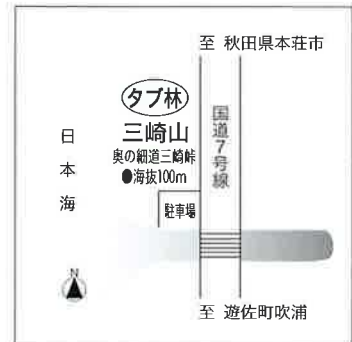
# 吹浦三崎山のタブ林 (ふくうらみさきやまのたぶりん)

飽海郡遊佐町吹浦字三崎2-1

日本海岸における山形県の最北端で、秋田県との境海拔58.8mの三崎山の  
一帯、2 haほどの地域を占める「タブノキ」を主とする照葉樹林である。

タブノキは高さおよそ20mで、日本海岸を青森県の深浦まで北上分布しているが、照葉樹林として自然のまま残っているのは飛島を除いてここが最北端の  
地点と認められている。昭和33年3月4日山形県指定天然記念物に指定されて  
いる。  
〔山形県森林協会〕

(案内略図)



**飽海郡遊佐町 三崎山**  
三崎山は、飽海郡遊佐町吹浦字三崎2-1にあり、山頂は58.8mの高さである。この山には、日本海岸を青森県の深浦まで北上分布しているタブノキが、自然のまま残っている。昭和33年3月4日山形県指定天然記念物に指定されている。この山には、タブノキを主とする照葉樹林が、2haほどの地域を占めている。この山は、秋田県との境である。この山には、タブノキを主とする照葉樹林が、2haほどの地域を占めている。この山は、秋田県との境である。

遊佐町

【森林やまがた51号(2001年6月)記載】